

京都府の一体的実施

平成24年4月1日事業開始

京都ジョブパークを拡充し、京都府の実施する総合就業支援業務と、職業紹介・職業相談等のハローワーク業務を一体的に実施

府

総合的就業支援業務



国

職業紹介・職業相談の実施等

① 事業内容

- ・京都ジョブパークを利用する一般求職者に対し、カウンセリングや職業紹介・職業相談等の就職支援を実施
- ・求人企業に対し、求人受付やコンサルティング・セミナー等の支援を実施

② 協定・事業計画

- ・京都府知事と京都労働局長の間で協定(*)を締結
- ・数値目標を盛り込んだ事業計画を京都府と京都労働局の間で策定

(*)一体的な実施に当たり、この事業の目的を達成するため、府と局は、相互の要請に対し、誠実に対応する旨を規定。

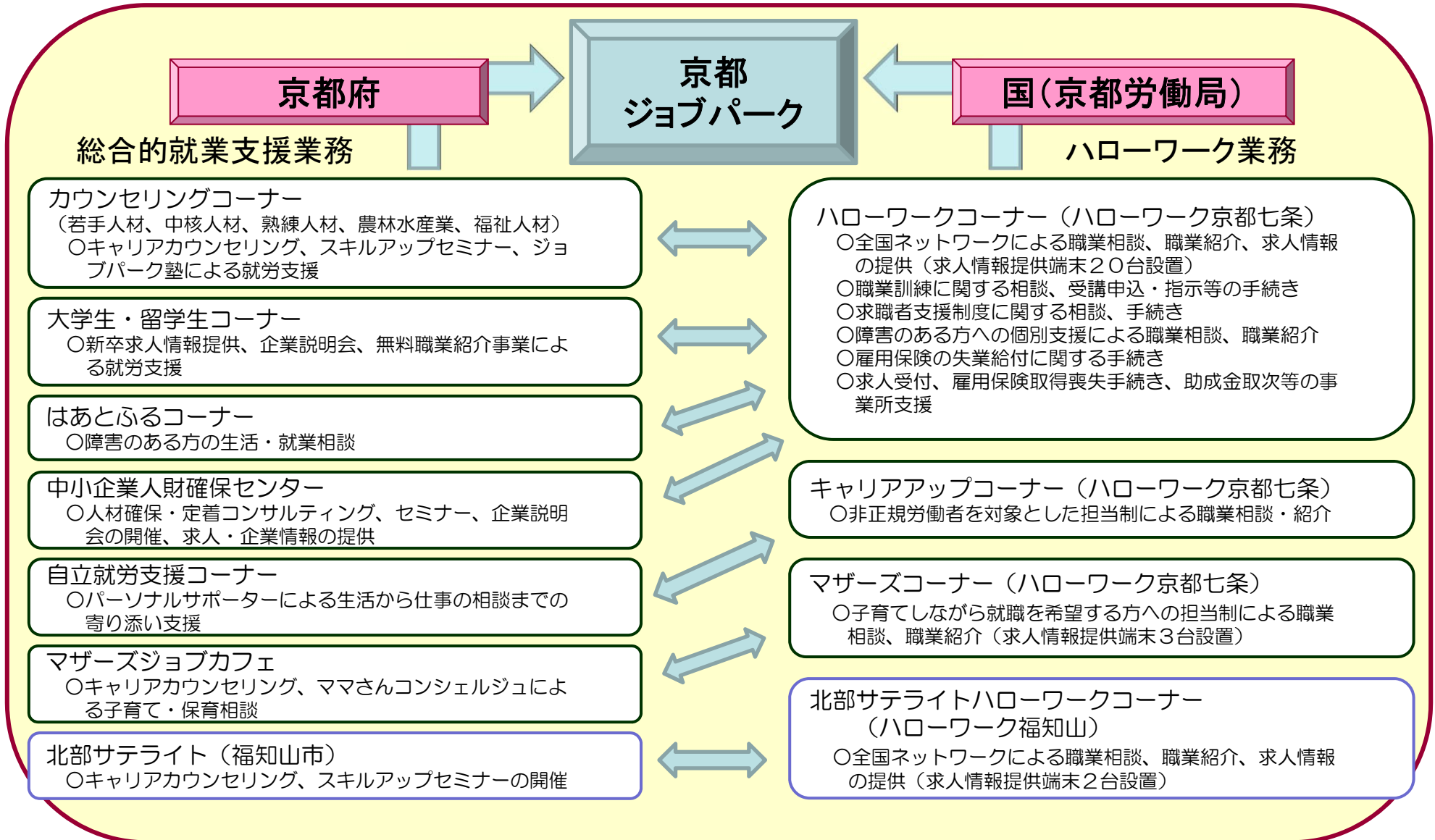
③ 運営協議会

- ・京都府、京都労働局、ハローワーク京都七条で構成する運営協議会を設置

利用者目線に立った一体的実施により、ワンストップサービスの充実・強化を図り、求職者への生活・就業支援や求人企業向け支援を実現

＜京都府と国（京都労働局）との一体的実施の全体像＞

京都ジョブパークを拡充し、京都府の実施する総合就業支援業務とハローワーク業務を一体的に実施



(1) 実施体制

府

・キャリアカウンセラー等103名を配置

国

・職員4名、就職支援ナビゲーター16名、職業相談員5名を配置
・求人情報提供端末23台、職業紹介端末11台を配置

(2) 事業目標と取組状況

	24年度事業目標	取組状況(24年9月末時点)
① 新規登録者数	16,000 人	6,443 人
② 相談件数	100,000 件 (うちハローワークコーナーにおける相談件数 22,500件)	48,526 件 (うちハローワークコーナー12,119件)
③ 総利用者数	150,000 人	80,996 人
④ 求人開拓数	15,000 人	10,253 人
⑤ 就職者数	5,600 人 (うち京都府の無料職業紹介による就職者数 600人)	3,290 人 (うち京都府の無料職業紹介による就職者数 100人)
⑥ 就職内定率	35.0 %	51.1 %



”全国初の完全ワンストップ化”の実現

—「オール京都」体制（公・労・使）による「京都ジョブパークモデル」—

京都府知事 山田 啓二

京都ジョブパークは、平成19年に公・労・使の「オール京都」体制により設立し、就業から生活相談、生活再建までをワンストップでサポートする文字どおりの「総合就業支援拠点」です。

若年者、中高齢者など、それぞれの得意分野の担当カウンセラーによる、きめ細かい継続的なご支援で就業実現を目指す体制をつくっているほか、求職中で生活にお困りの方の就労と生活相談を一体的に行う「自立就労サポートセンター」、子育て中のお母さんへの就業と保育所探しなどの育児支援を一体で行う「マザーズジョブカフェ」をはじめ、障害のある方の就労を支援する「はあとふるコーナー」、府内の中小企業等の人財確保を支援する「中小企業人財確保センター」、無料で労働相談を行う「京都中小企業労働相談所」など、就労に関するあらゆる支援を、ここ京都ジョブパークの一元所でできる仕組みをオール京都体制で構築してきました。

一方、ジョブパーク内のハローワーク・コーナーの機能が「職業紹介」に限られていたことから、雇用保険や職業訓練の手続きは住居地のハローワークに行ってくださいが必要があり、真のワンストップサービスができていませんでした。

そこで、ハローワーク・コーナーの機能強化による一体的実施を国に提案し、平成24年4月から全国で初めて、府内全域を対象として、雇用保険や職業訓練など就業に関するあらゆる手続きを含めた完全ワンストップ化を実現させるとともに、京都府自らも無料職業紹介権を再取得し、多岐にわたる求職・求人ニーズに対応した質の高い就業支援拠点としての体制を整えることができました。

このように何よりも大切なことは、国と自治体が府民の皆様のために互いに力を合わせて、より良いサービスを提供していくことであり、今後とも、利用者起点を基本とし、一体的運営のメリットを最大限に活かし、府民の皆様が安心・安定して生活・就業できるご支援を行えるよう、進化を続けていきたいと考えています。府民の皆様、是非京都ジョブパークをご利用ください。

一体的実施事業による就職成功例

女性：20歳代 希望：事務系職種

① 本人の状況・背景

- ・高校卒業後、警備員として6年間勤務。
- ・京都府へ単身で転入。就職が決まらず生活保護受給に至る

② 抱える課題

- ・事務系職種で就職を希望するが事務経験がない。
- ・事務職に必要なレベルのコンピュータ技能がない。
- ・コミュニケーション能力に不安がある。

③ 支援内容・ポイント・経過

- ・パーソナルサポーター（京都府）と就職支援ナビゲーター（ハローワーク）が連携し、就労自立に向けた寄り添い型支援を開始。
- ・自立就労支援コーナーが企画した3ヶ月のトレーニング就労（ジョブトライ事業）と就職支援セミナーを利用し、就職に向けた準備を行う。
- ・職業訓練受講に向け、個別にパソコントレーニングを実施し、パソコンの基礎を身につける。
- ・求職者支援制度を活用し、3ヶ月のパソコンの職業訓練を受講し、事務系職種に必要な技能を習得。
- ・京都ジョブパーク内で、訓練受講申込みから求職者支援給付金、就職支援までの手続きをワンストップで実施。

④ 結果

ハローワークコーナーの紹介で電気機械器具製造会社のフルタイムパート求人に応募。パソコンの技能を生かし「資材・調達」職で就職。

○ 就職支援ナビゲーターの所感

- ・就労意欲が高い求職者で、努力を惜しまなかったことと、コツコツと成し遂げる性格がマッチしたことで採用につながった。更なるチャレンジで正社員に向けて頑張られることでしょう。

＜パーソナルサポーターと就職支援ナビゲーターとの連携＞

